

堺市自殺対策推進計画(第3次)骨子案・構成案に関する意見一覧

○「計画の策定にあたって」の項目に関するご意見

ご意見・コメント

○「堺市の現状と課題」の項目に関するご意見

意見・コメント
自殺死亡率の低下は、医療機関や相談機関、行政、警察、その他等の連携努力の結果であれば喜ばしいことと思います。
「現状の把握と課題を抽出」・高齢者や若者など年齢層に応じた支援の必要性→重要だと思います。医療機関だけでなく様々な関係者や機関の連携が必要であり、また誰が(どの機関が)リーダーシップをとるのか、かかわっている人たちの共有、協働が課題だと感じることがあります。
・自殺した方法(多い方法、手段)についての比率。 ・インターネットを用いての検索でチェックできるのか、あるいはチェックする方法はあるのかという点。

○「自殺対策を推進するうえでの基本認識」の項目に関するご意見

意見・コメント
気になる点として、「自殺対策における基本知識」において、2. "防ぐことのできる"3. "何らかのサインを発している" 基本として大切だと思います。ただご遺族が目にするには苦しくなる文言なのかなとも思います。対策を推進していく私たちの責務として表現されているものでしょう。
5. "自殺に対するステイグマ"とは、死んではいけない、自殺はダメだと言われてしまうという思い？
追いつめられた末なのか、発作的なものか生育歴によるものか、もう少しわしく解明した方がよいと思う。

○「今後取り組むべき重要な施策」の項目に関するご意見

意見・コメント
計画策定にあたって計画の期間が令和4年4月1日から令和9年3月31日の5年間とありましたが、コロナ禍においても実態調査や意識調査をすれば平常時の調査と違った結果が出て比較できるのではないかと思います。
若年者向けの相談窓口として、SNSを用いた相談についても検討いただければと思います。
"自殺未遂者への支援における関係機関等との連携強化について、救急病院を退院するとき精神科へつながることを頑なに拒否される方もおられます。現在、堺市いのちの応援係へ依頼することも多いですがACTのような、主軸となって動いていただけるチームが行政に存在するといいいかもしれないと妄想したりもします。
ゲートキーパー拡充については賛成ですが、市民だけでなく市役所職員がゲートキーパーとなりうる教育が重要と考えます。
最近の自殺を企図する人はインターネットを用いて、方法や手段を検索しているケースが多いようです。又、仲間を募ってまったくの他人同士で自殺するケースがあるようです。これに対しても考えるべきでは。

○「計画の目標」の項目に関するご意見

意見・コメント
悩みを相談できるところを増やすことが必要。

○「基本方針及び取組の推進」の項目に関するご意見

意見・コメント

○その他、骨子案・構成案全体に関するご意見

意見・コメント
救急告示病院における自殺未遂者への対応状況等に関する報告書の現場の対応やケアについて又連携についての課題もわかりやすかったです。全体的に問の質問にも見やすく対応状況にも理解しやすいと感じました。
自殺に対する理解のところで、追加として、又は、その中に精神疾患の理解を入れるのはどうでしょうか。自死や精神疾患への偏見を無くしていくこと、誰もが精神疾患になり得ることを理解してもらいたい。

その他案件以外に関する意見一覧

意見・コメント
最近若い男女3名が堺市の駐車場の車の中で練炭自殺をしていたニュースを見ました。住所が堺市ではなく他市でありSNS等で集い一緒に簡単に自殺するという現象が行われました。この現象には生命の尊さ、重さはなく家族の心の痛み等にも配慮がなく本人達の自己満足の人生の幕引きに思えました。私は生きている限り、失敗等をして、悩んだり迷ったりいろいろなことを体験して成長すべきだという考えです。だからこうした事象を踏まえて、事前に幼児教育の場から考えていかなければと思うことが意味のないことなのでしょうか。
現状分析に基づき、丁寧に作成された骨子案・構成案について意見はありません。現場からの希望や質問として記入させて頂きました。ご指導のほどよろしく願っています。
今後新型コロナの影響による貧困や失業、家庭内不和の増加が予測され、自死に繋がる可能性が懸念される。その対策が急務と思われる。